



STAR'S REPORT

2015年2月期 報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2015年2月期(2014年3月1日から2015年2月28日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2015年5月



取締役社長

佐藤 肇

当期概況について

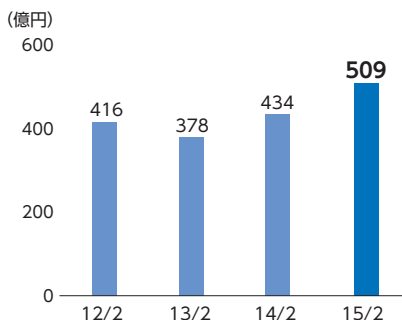
当期の当社グループの業績は、欧米経済が回復傾向で推移したことに加え、円安の効果もあり、全事業で増収増益を達成することができました。

工作機械事業では、主力の欧州市場のほか、アジア市場、国内市場でも販売が好調に推移しました。特に自動車関連の需要が高く、好調な販売につながりました。また、特機事業では、米国および国内市場でモバイルPOS（以下mPOS）向けプリンターの販売が伸びており、新たな成長分野となってきました。さらに精密部品事業でも腕時計メーカーの販売好調を受け、時計部品の販売が大幅に増加したほか、非時計部品の販売も堅調に推移しました。

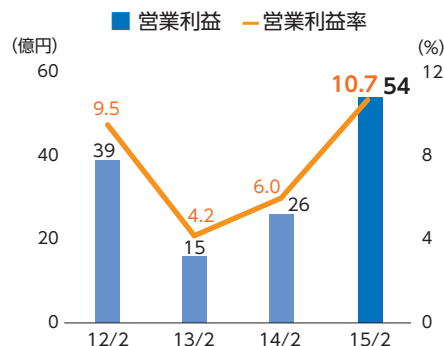
このような状況のなか、当期の業績は、売上高は前期に小型音響部品事業が終了した影響もあり50,957百万円と前期比17.2%の増収でしたが、利益につきましては、営業利益は同110.1%増の5,476百万円、経常利益は同91.1%増の6,150百万円、当期純利益は同310.7%増の4,695百万

▶ 連結業績ハイライト

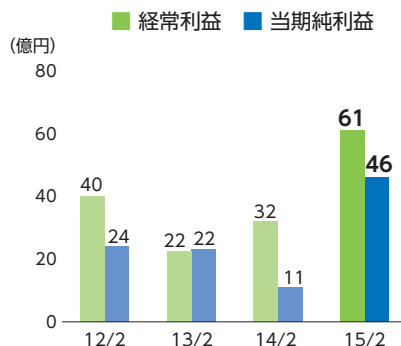
売上高



営業利益／営業利益率



経常利益／当期純利益



円と大幅な増益となりました。

mPOS向けプリンターの拡大と可能性

当期のなかで特に成長を遂げたのが特機事業のmPOS向けプリンターです。mPOSとは、タブレット端末などを利用したPOSシステムのことです。従来の専用POSシステムやパソコンを利用したもの(PC-POS)に比べ、低コストで簡単に導入できることが特長です。従来のPOSシステムの場合、専用機器の導入や専用システムの構築が必要でしたが、mPOSは市販のタブレット端末などがそのまま利用でき、システムはアプリケーションをWebからダウンロードするだけで簡単に設定できます。また、タブレット端末などに小型のカード読み取り機を接続することでクレジットカード決済も可能になります。これまで費用面などの問題でPOSシステムを導入できなかった中小の小売店舗を中心に利用され始めており、従来のPOSシステムに加え、新たにmPOSの導入が進むことで市場全体の拡大が見込まれます。

当社グループでは、このmPOSで利用されるプリンターをいち早く市場投入し、独自のSDK(ソフト開発ツール)を提供したことなどで市場から高い評価を得て、この分野のプリンターではトップシェア^{*}を誇っています。

現在、mPOSは主に米国や国内で普及しつつありますが、今後は欧州をはじめ、アジアなどの新興国への拡大が予想されます。特に新興国ではこれまでPOSシステムの導入があまり進んでおらず、大きな市場になることが期待できます。

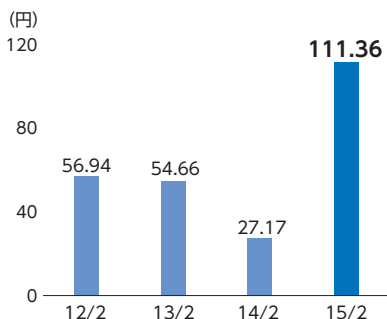
※当社調べによる

次期の見通しと事業戦略

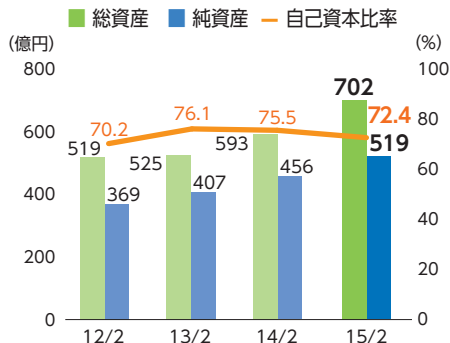
次期の世界経済につきましては、一部の地域に弱さがみられるなど先行き不透明な部分があるものの、全体では緩やかながらも成長が続くと見込まれます。

このような状況のなか、次期の連結業績につきましては、工作機械事業は、欧州市場では販売の減少を見込むものの、アジア市場の販売が伸びる見込みです。特機事業は、引き続き

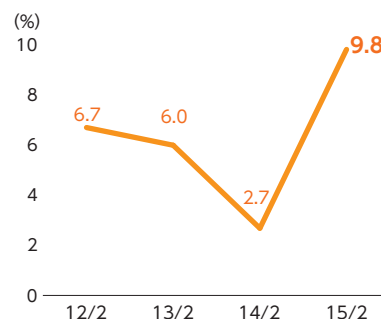
1株当たり当期純利益



総資産／純資産／自己資本比率



ROE(自己資本当期純利益率)



トップメッセージ

きmPOS向けのプリンターなどの販売が欧米市場で伸びる見込みです。また、精密部品事業は、時計部品の販売が堅調に推移することに加え、非時計部品も自動車向けを中心に販売の伸長を見込んでおります。

以上により、売上高は前期比5.6%増の538億円、利益につきましては、売上の増加などにより営業利益は同11.4%増の61億円、経常利益は同2.4%増の63億円、当期純利益は同4.4%増の49億円となり、2期連続の増収増益となる見込みです。

次期も引き続き堅調な業績を見込んでいますが、当社グループの事業環境の変化は激しく、先の見通しは決して楽観できません。特に工作機械事業などは、需要サイクルによる影響を受ける傾向があります。ここのところ需要増の時期が続いていますが、今後は一旦、調整の時期を迎えることも予想されます。事業環境が反転しても影響を最小限に抑え、成長を続けるためにも、次のような積極的な事業戦略を進めていきます。

〈成長を続けるアジア市場の強化〉

世界の生産・消費をリードし、経済成長を続けるアジア市場では、当社グループの成長が期待できることから販売、生産の両面で強化を図ります。

工作機械事業では、アジア地域で戦略的な製品の投入を行うほか、販売網の強化を通じて市場開拓を進めていきます。特に新規顧客の多いアジア市場では、製品の実力をよく知ってもらうために、部品加工の試作といったビフォアサービスの充実を図り販売の増加につなげていきます。また、タイの生産拠点では生産能力の増強を急いでおり、次期中に

は生産台数を当期末の月産約40台から倍増させたいと考えているほか、中長期的にはさらなる生産台数の増加も目指しています。そして今後は日本、中国、タイの3つの生産拠点で効率的な生産・物流体制の運営を目指すとともに長期的な需要の増加に対応していきます。

精密部品事業では、国内製造業のアジアを中心とした海外展開の動きがあるなか、当社グループが持つ国内外の生産拠点のネットワークの強みを生かして、積極的に新規顧客の獲得や新規部品の受注拡大に努めていきます。また、需要の高まりに応えるために生産能力の増強も図っていきます。

〈mPOS向けプリンターの販売拡大とさらなる事業展開〉

拡大が期待されるmPOS市場ですが、今後は競合他社との競争によりこれまで以上に厳しい事業環境が予想されます。そのようななか、引き続きこの市場で高いシェアを獲得していくためには、継続的に付加価値の高い製品やサービスを提供することが必要だと考えています。すでに今年の2月には業界初の専用充電器を必要としないモバイルプリンターを、3月には新たな電子レシートサービスの提供をそれぞれ発表するなど対応を進めています。さらに今後は、新たに米国に設立した子会社スタークラウドサービス・INCを中心に、クラウドを活用した新たなビジネスモデルの構築を進めていきます。

経営基盤の強化

これまで以上にグローバルな事業拡大ステージを迎えた当社グループにとって、経営基盤の強化も大きなテーマです。

現在、当社グループが注力していることに現場力の強化

があります。海外中心の生産体制が進んできたなかで、品質へのこだわりが弱体化するリスクがあります。国内の生産現場で培われたノウハウや知恵を、海外の生産拠点でも十分に発揮できる体制整備を行います。また、当社グループの連結経営管理の高度化を目指し、グローバルレベルでのシステム構築も進めています。

企業価値・株主価値の向上

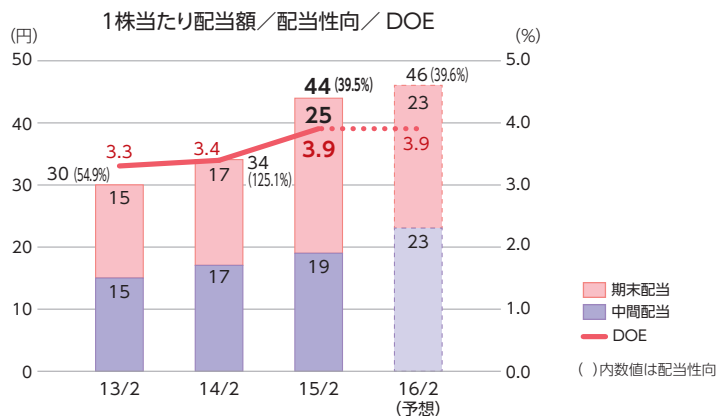
今年の6月にはコーポレートガバナンス・コードが施行されるなど、現在、日本の企業では資本効率の向上を目指す動きが活発化しています。

当社グループの資本政策については、配当は株主の皆様への利益還元を重視し、配当性向40%以上を目標にDOE

(連結株主資本配当率)を勘案しながら実施しています。そして、3年後の2018年2月期までにDOEを4.5%以上、ROEを11%以上とすることを中期目標としています。これまでも総資産に対する現預金(ネットキャッシュ)比率は20~25%を目途とし、これを超える現預金については株主還元にあてるべく、自社株買いなども積極的に行ってきました。しかし、経営の主眼としては、単に自己資本だけを圧縮して資本効率を向上させるのではなく、事業収益による株主還元の増加を重視していきたいと考えています。

今後とも健全な財務体質を維持しながら、健全な事業投資を推進し、株主の皆様へ利益を還元することで当社グループの価値を株主の皆様と共有したいと考えています。成長を続ける当社グループにいつそご期待いただきますようお願い申し上げます。

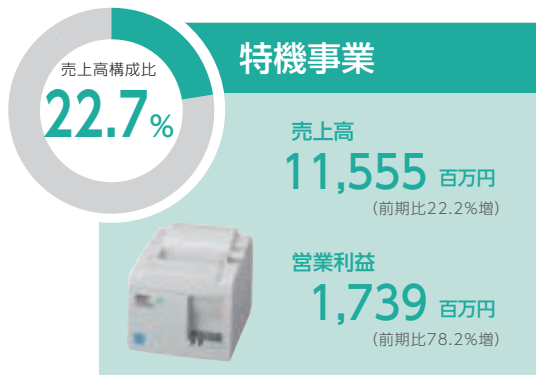
▶ 株主還元



当期末の配当については、前期末に比べ8円増配の25円とさせていただきました。これにより、当期の配当金は中間配当の19円とあわせて年間44円となりました。

また、次期の配当については、当期と比べ2円増配の年間46円(中間、期末ともに23円)を予定しております。

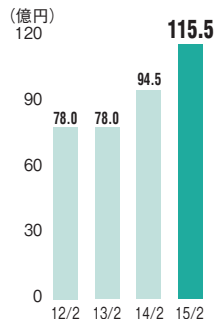
事業別の概況



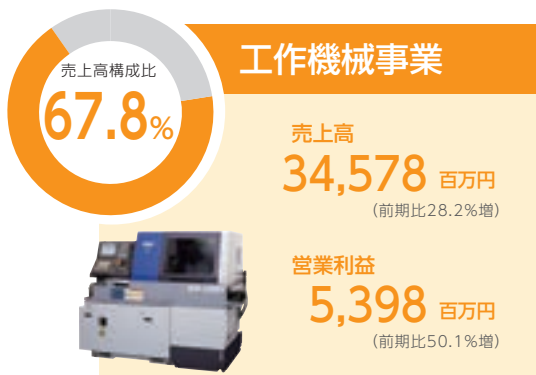
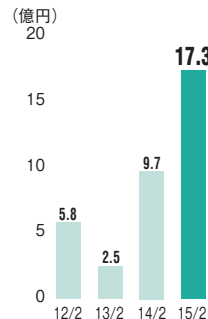
▶ 当期のポイント

- 米国および国内市場は、スマートフォンやタブレット端末を利用した決済システム(mPOS)向けなどで販売が好調に推移し、欧州市場も緩やかな景気回復傾向のなか売上は増加
- アジア市場は、中国でドットインパクト製品の販売が伸びたことなどで売上は増加

売上高



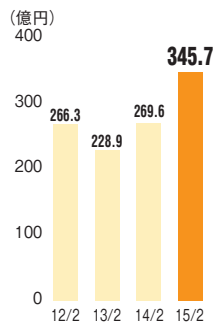
営業利益



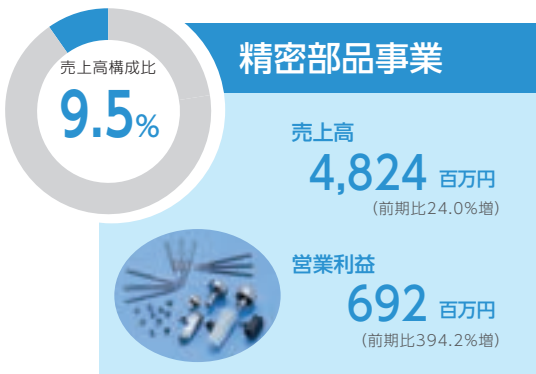
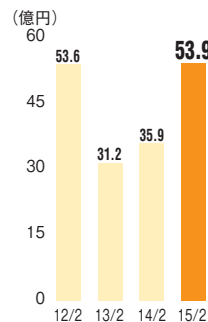
▶ 当期のポイント

- 欧州市場は、受注の回復傾向が続くなか自動車関連などの販売が好調で、売上は大幅に増加
- 米国市場は、主力の医療関連で販売の回復が遅れたことから、売上は前期並みにとどまる
- アジア市場は、東アジアを中心に自動車、通信、医療関連の販売が好調に推移し、売上は大幅に増加
- 国内市場は、自動車関連を中心に販売が好調に推移し、売上は大幅に増加

売上高



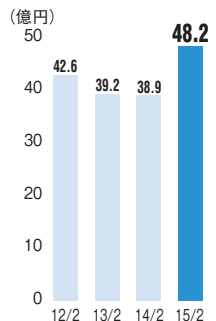
営業利益



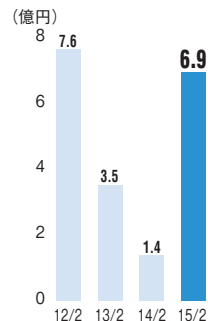
▶ 当期のポイント

- 時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け、売上は大幅に増加
- 非時計部品は、海外において自動車関連部品や医療関連部品などの販売が堅調に推移したため、売上は増加

売上高



営業利益



第27回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2014)に出展

2014年10月30日～11月4日、東京ビッグサイトにて開催された国内最大規模の工作機械見本市「JIMTOF2014」に出展しました。これは2年に1度開催される見本市で、毎回、国内外から多数のお客様が来場されます。

当社ブースでは「SW-12RII」、「ST-20」をはじめとする計6台の自動旋盤を出展し、各製品の特長を生かした部品加工の実演を行いました。

なかでも、医療・自動車等の小径複雑形状部品において、生産性と複合加工能力に優れた自動旋盤として高い評価を得ているSWシリーズの新製品「SW-12RII」が注目を集めました。「SW-12RII」は、対向クシ刃型刃物台、バック8軸ユニットを搭載し、3系統独立制御、同時加工およびスターモーションコントロールシステムにより、同カテゴリーのスイス型自動旋盤では世界最速クラス*のサイクルタイムを実現しました。さらに、ガイドブッシュ仕様、ノンガイドブッシュ仕様の切り換え機能を搭載し、部品の全長寸法に応じて最適な仕様での加工が可能となります。

*当社既存製品比最大20%短縮

世界最速、高生産性を追求した
小径加工モデル「SW-12RII」



New

mPOS向けプリンター2機種を発売

2014年10月、mPOS向けプリンター「TSP700IIBI」と「TSP800IIBI」の2機種を販売開始しました。

この2機種は、Apple MFiライセンスプログラム*認定を取得し、Bluetoothに対応したもので、近年急速に拡大が進むmPOS市場におけるシステム構築に最適な据え置きプリンターです。また、厚紙やラベルにも対応しており、レシート発行の他に、梱包用ラベルやロットリー（宝くじ）などの発行もスマートフォンやタブレット端末で対応できます。

*MFiとは、「Made for iPhone/iPad/iPod」のことであり、iPhone、iPad、iPodに接続するように設計され、Apple社の認証を得た製品であることを示しています。

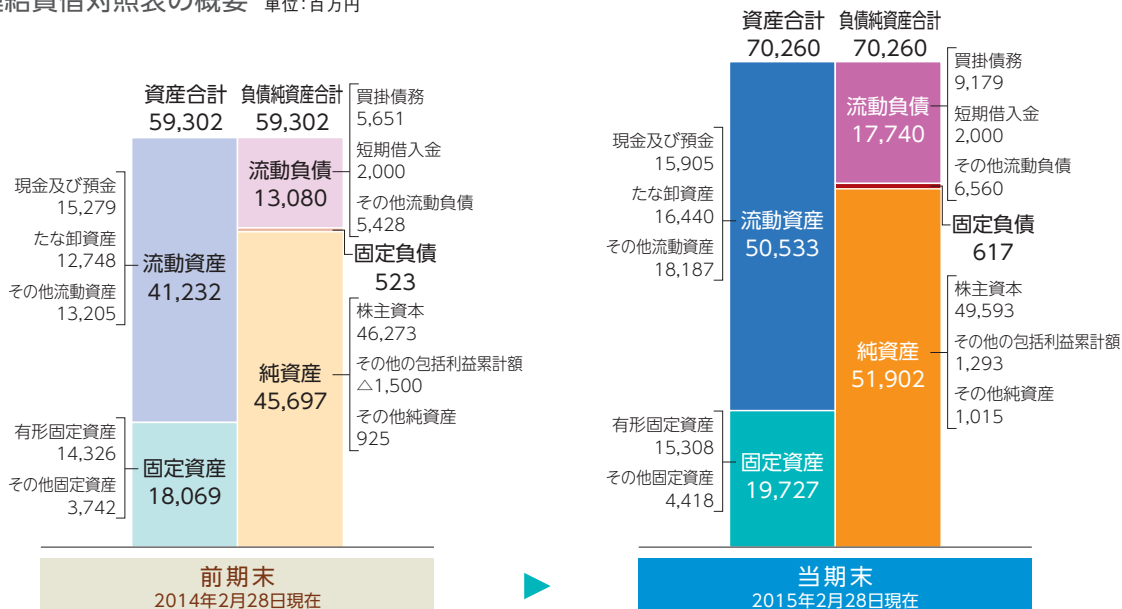


TSP700IIBI

TSP800IIBI

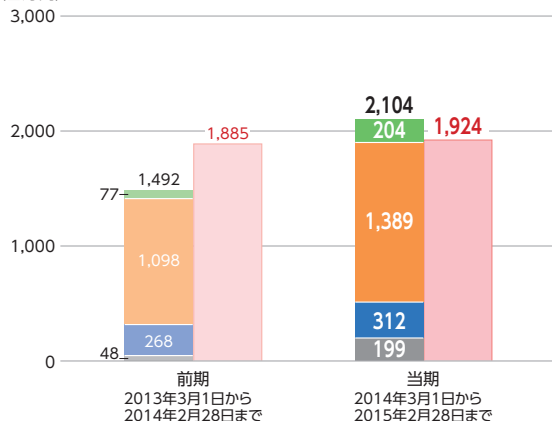
連結財務情報【要約】

▶ 連結貸借対照表の概要 単位:百万円



▶ 設備投資

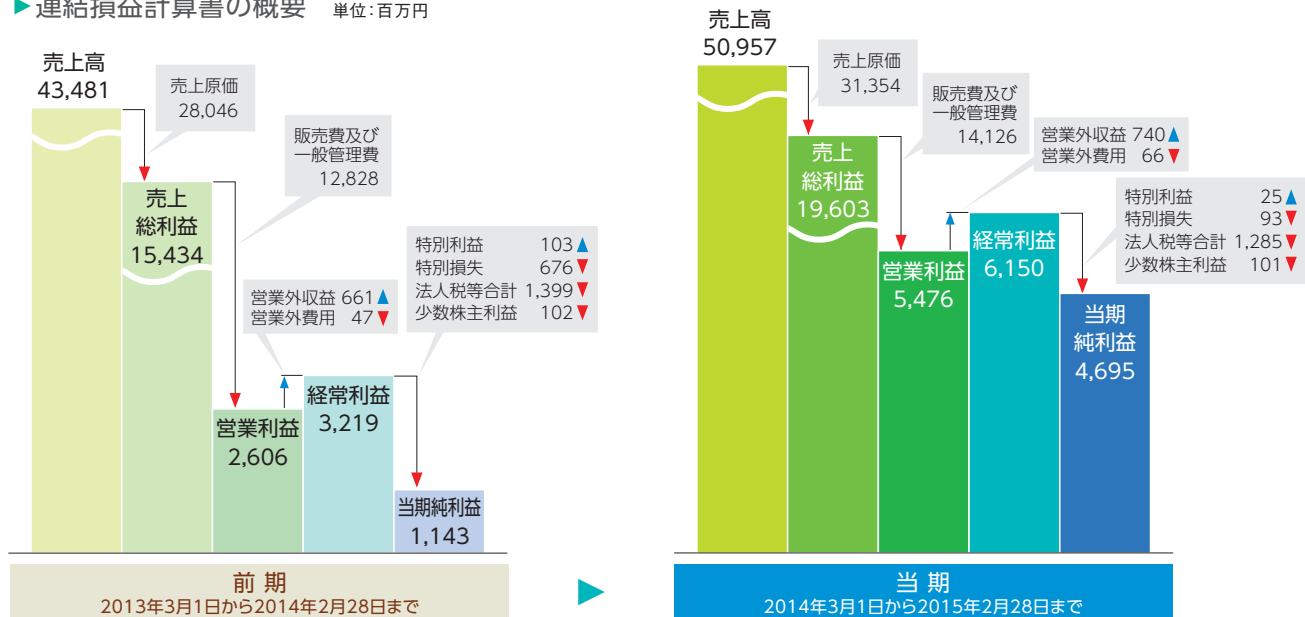
(百万円)



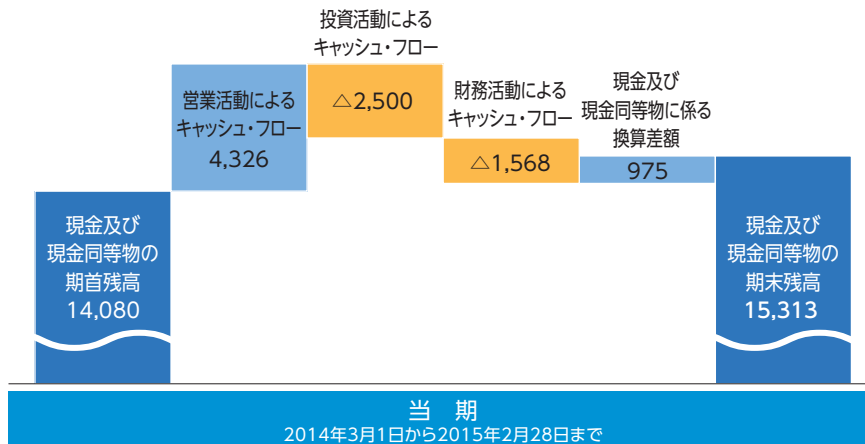
主な設備投資実績(2015年2月期)

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	海外工場の生産設備 合理化、維持更新等
精密部品事業	合理化、維持更新等
本社他	太陽光発電設備 情報システム関連等

▶ 連結損益計算書の概要 単位:百万円



▶ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



News

米国に新子会社を設立

2015年2月、米国・カリフォルニアに特機事業の子会社スタークラウドサービス・INCを新たに設立しました。

今後はここを中心に、電子レシートをはじめとしたクラウドを活用した新たなビジネスモデルの構築を進めていきます。



News

タイの工作機械生産子会社
一貫生産体制を構築

2013年4月に稼働を開始したスターマイクロニクスマニュファクチュアリング(タイランド) Co.,LTDでは、昨年6月までに部品加工から最終組立までの一貫生産体制が整いました。

国内拠点
事業所

本社
品質技術センター

■特機事業部

庵原工場
東京営業所

■機械事業部

菊川工場
東京営業所
大阪営業所
名古屋営業所
諏訪営業所

■精密部品事業部

富士見工場

国内子会社

(株)ミクロ札幌
スターメタル(株)

海外拠点

北米

スターマイクロニクス
アメリカ・INC(米国)

スター CNC
マシンツールCorp.(米国)

スターアメリカ
ホールディング・INC(米国)

スタークラウド
サービス・INC(米国)

欧州

スターマイクロニクス
ヨーロッパ・LTD(英国)

スターマイクロニクス
GB・LTD(英国)

スターマイクロニクス・
GmbH(ドイツ)

スターマイクロニクス・
AG(スイス)

スターマシンツール
フランス・SAS(フランス)

アジア

斯大精密(大連)有限公司(中国)

上海星栄精機有限公司(中国)

上海星昂機械有限公司(中国)

天星精密有限公司(香港)

スターマイクロニクス(タイランド)
Co., LTD(タイ)

スターマイクロニクス プレジジョン
(タイランド)Co., LTD(タイ)

スターマイクロニクス サウスイースト
アジアCo., LTD(タイ)

スターマイクロニクス
マニュファクチュアリング
(タイランド)Co., LTD(タイ)

会社概況・株式状況 (2015年2月28日現在)

▶ 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	556名
	(注) 契約社員等の年間平均雇用人員53名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)

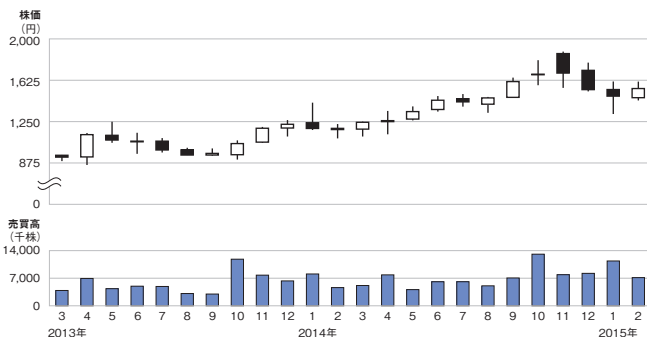
▶ 役員(2015年5月28日現在)

代表取締役社長	佐藤 肇	常勤監査役(社外)	堀池 英伸
常務取締役	田中 博	監査役(社外)	洞江 秀
常務取締役	佐藤 衛	監査役(社外)	杉本 基
取締役執行役員	村上 淳一	執行役員	西沢 良和
取締役執行役員	青木 隆之	執行役員	山梨 正人
取締役執行役員	杉浦 啓之	執行役員	笹井 康直
取締役(社外)	岩崎 清悟		

▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	11,123名

▶ 株価および株式売買高の推移(東京証券取引所)

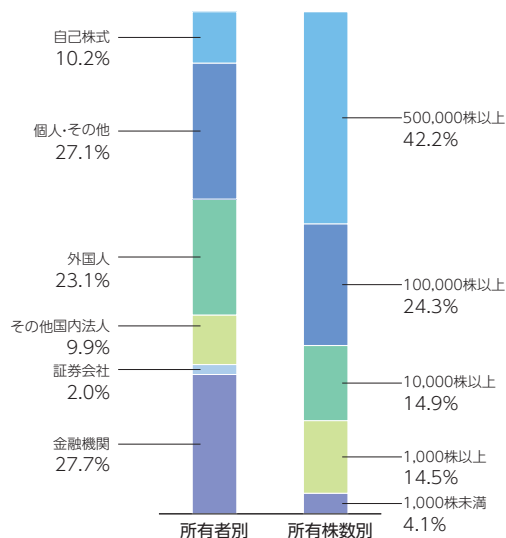


▶ 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,517	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,413	5.7
シチズンホールディングス株式会社	2,058	4.9
株式会社静岡銀行	1,582	3.7
株式会社みずほ銀行	1,348	3.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,009	2.4
リズム時計工業株式会社	1,006	2.4
鈴木 通	712	1.7
THE BANK OF NEW YORK 133524	678	1.6
THE BANK OF NEW YORK 133522	634	1.5

(注1) 当社は、自己株式4,806千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有者別・所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009(通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(http://www.star-m.jp)
単元株式数	100 株

● ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> 住所・氏名等のご変更 単元未満株式の買取および買増請求 配当金の受領方法のご変更 	<p>口座をお持ちの証券会社</p>	<p>特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社*</p> <p>東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) *三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)においてもお取次しております。</p> <p>《郵便物送付先・連絡先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009(通話料無料)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 未受領の配当金に関するお問合せ 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 株式事務に関する一般的なお問合せ 	<p>すべての株主様</p> <p>株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。</p> <p>《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)</p>	

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

